



地域医療連携室だより

Vol. 132 COVID-19特集号

発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2020年5月18日

市立大津市民病院 検索

当院の COVID-19 に対する取り組み

平素より当院の診療に対しましては、格別のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

我が国における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大状況を受け、当院は、感染症指定医療機関としての責務を果たすため、日々検討を重ねながら診療体制を構築しております。

かねてより周知をさせていただいておりますとおり、感染拡大防止、医療従事者への感染リスクを下げる観点から、一部の診療ならびに検査の制限をさせていただいております。関係各所の皆さまにはご迷惑をおかけすることとなりますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、当院では、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、対策本部主導のもと、様々な感染予防対策を実施し、全職員一丸となり、地域の皆様の命・健康を守るため、使命感を持って日々診療に臨んでおります。今回は、当院の主な取り組みをご紹介します。

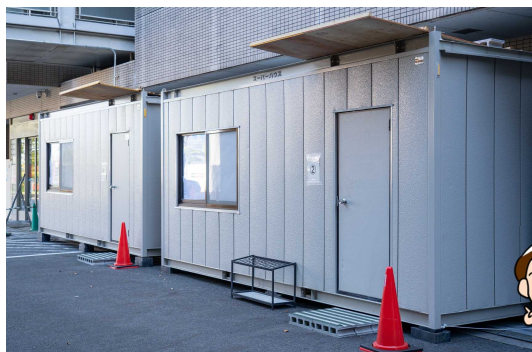


院長 若林 直樹

救急外来「ER おおつ」の運用について

ER おおつでは、現在 COVID-19 患者あるいは疑い患者に集約した診療対応とさせていただいております。

診療に当たっては、診察室を**レッド**（最も COVID-19 を疑う）、**イエロー**（COVID-19 が否定できない）、**グリーン**（COVID-19 の可能性が低い）の3段階に分け、患者同士が交叉しないようにゾーニングし、関わるスタッフもゾーン毎に適切な PPE を使用することで院内感染防止に努めております。このため、当院 ER おおつの屋外には、現在コンテナ3機、テント1機が臨時で設置されました。



レッド患者は
コンテナ1、
イエロー患者
はコンテナ
2、テントで
待機します

ER おおつは
現在通り抜けが
できません



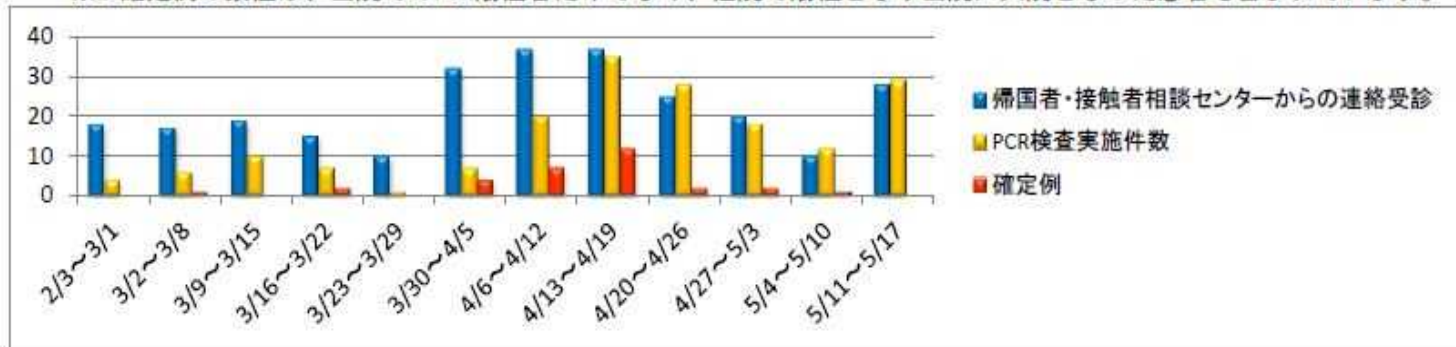
COVID-19 診療実績

COVID-19が疑われる患者の受診状況

週	2/3~3/1	3/2~3/8	3/9~3/15	3/16~3/22	3/23~3/29	3/30~4/5	4/6~4/12	4/13~4/19	4/20~4/26	4/27~5/3	5/4~5/10	5/11~5/17
帰国者・ 接触者相 談センタ ーからの連 絡受診※1	18	17	19	15	10	32	37	37	25	20	10	28
PCR検査 実施件数	4	6	10	7	1	7	20	35	28	18	12	29
確定例 ※2	0	1	0	2	0	4	7	12	2	2	1	0

※1 発熱で受診した患者全ての受診数を示す数字ではありません。

※2 確定例の数値は、当院でのPCR陽性者だけでなく、他院で陽性となり当院に入院となった患者も含まれています。



来院者トリアージを開始しました

4月30日より、院内感染防止目的で病院の出入口の部分的制限を行い、8時～15時の時間帯で一般外来受診者全員（付添など受診目的以外の方も対象）の発熱トリアージを建物外で開始しました。

発熱・咳などの風邪症状・呼吸器症状がある患者様が、一般の受診患者様と長時間交差することがないように対策をとっています。



来院者トリアージご協力くださいますようお願い申し上げます。



専用病棟で治療にあたっています

COVID-19 用の専用病棟は、9 階（軽症～中等症）と 3 階（中等症～重症）にあります。導線を見直し、一般の入院患者様・スタッフと交叉することがないように厳重に管理を行っています。

また、COVID-19 患者様の受け入れに対応するため、旧結核病棟等を急遽 COVID-19 用に転換し入院病床の確保に努めています。

最近では、滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンターから軽症患者の宿泊療養施設退院指示が出されるケースが増えてきました。



そのほか、様々な取り組みを行っています

- ①紹介・予定検査・予約入院の患者様には事前問診票を配布し、発熱・咳などの体調不良がある方には事前に病院にご連絡いただくようお願いしています。
- ②COVID-19 対応職員を対象にした宿泊施設の確保をしました。
- ③PPE 不足が懸念される中、各職員が工夫し自作→現場で採用されるなど（例：フェイスガード）、全職員が一丸となって COVID-19 対応にあたっています。

皆様からの温かいご支援に厚く御礼申し上げます

全国各地より、当院への声援・激励のお言葉や寄せ書き、お菓子・おにぎり・お弁当といった差し入れを頂戴し、職員の励みとなっております。また、マスクや感染防護具といったご寄附を多数頂戴しております。これらは、COVID-19 診療や感染対策に有効活用させていただきます。



頂戴したご支援・ご寄附の詳細は当院ホームページでご紹介させていただいております。



現場の声

-治療・ケアの最前線より-

■■■■科
診療部長 ■■■■医師

■■■■科の■■■■です。新型コロナウイルスは目、鼻、口から侵入します。マスクをしていても顔をさわると感染する可能性があります。外では決して顔を触らないのが日常生活で最も注意するポイントかと考えます。地味ではありますが、我々と皆さんの安全を担保してくれるのは手指衛生であることを強調させていただきます。

COVID-19 診療チーム
医師

新型コロナウイルス感染症に対して複数科でチームを結成し診療しております。医療資源は限られており、雨合羽を着用していますが着心地は悪くありません（苦笑）。季節は変わりますが「コロナ禍」は変わりません。「コロナ前」の世界にいつもどれるのかわかりませんが、市民のみなさんの期待に応えられるようにチーム一丸となってウイルスと戦っています。

ER おおつ看護師

当院では3月にCOVID-19の受け入れが開始され、4月には発熱外来も導入されて、日々救急搬送をはじめ多くの発熱患者様を看ています。

私達は安全な看護を提供するため、清潔・不潔のゾーニングや換気、環境整備（ベッド、使用機器などの清掃消毒）、ガウン装着、手指衛生などをしっかりと行っています。ガウンについては不足しているためカッパを代用し汗をかきながら患者様と接していますが、正直辛く感じることもあります。そのような中でも、患者様の不安を軽減するため話を傾聴し分かり易い説明を行うようなコミュニケーションを心がけています。今後も安全・安楽な看護が提供できるように取り組んで参ります。



■■■■科 ■■■■医師

■■■■科の■■■■です。現在、ERとICUそれぞれにおける対応マニュアルを作成し、当院スタッフの安全を確保しています。また、■■■■科では、3B病棟をCOVID-19重症病棟として、人工呼吸器やECMOを必要とする患者様の診療を行っています。

地域医療の役に立てるように全職種一致団結しておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

3B病棟看護師
(中等～重症患者入院)

医師・看護師・コメディカル、数十名のスタッフが自己の感染予防に努めつつ、重症患者様の状態回復に向け、全身全霊全力で治療に取り組んでいます。不安な思いを抱えながらPCR検査結果を待つ入院患者様には、寄り添いの姿勢での関わりを心がけています。

各方面からの励ましのお言葉とお心遣いの品々がスタッフ一同の励みとなっております。笑顔を忘れず、今後も頑張っ参ります。

-マスク痕 感じる自分の 実年齢- (看護師こころの俳句)

9B病棟看護師
(中等症患者入院)

9B病棟では、主に発熱や頭痛、酸素投与の必要な患者様に対応しています。

日々の看護は全身状態の変化に対応できるように緊張感を持って行っています。さらに未知の病に対する患者様の不安や恐怖感を傾聴して精神的ケアにも取り組んでいます。限られた資材を大切に、安全な医療提供に全力で努めています。

市立大津市民病院職員一同、地域の皆様の健康・生命を守るため、これからもCOVID-19診療に全力で取り組んで参ります。

今後の感染拡大状況に応じて、適宜変更を行います。何卒ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。末筆ながらCOVID-19感染症状況の一刻も早い収束と皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

